



岩手大学
IWATE UNIVERSITY

Iwate University Ihatov Fund Report 2026

岩手大学
イーハトーヴ基金レポート
2026 (2025年度実績報告)

学長挨拶

皆様の温かいご支援に感謝して

皆様には日頃より岩手大学の取組に深いご理解と温かいご厚情を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

このたび、2025年度の寄附実績および寄附を原資として実施した各種事業について取りまとめ、「岩手大学基金レポート2026」としてご報告申し上げます。皆様からお寄せいただいた尊いご厚志は、学生の修学支援をはじめ、教育研究環境の充実や地域社会との連携強化など、本学の多様な取組に大切に活用させていただいております。

2025年度は、創立80周年記念募金を含め、多くの皆様からご支援を賜り、その総額は1億円を超える大きな成果となりました。

2024年7月より開始した岩手大学創立80周年記念募金事業につきましては、卒業生・修了生をはじめ、保護者、教職員、地域の皆様などから幅広いご協力をいただいております。本事業は単なる資金調達にとどまらず、これを契機として、岩手大学を取り巻く多様な方々とのつながりをさらに広げる取組へと発展していることを実感しております。2029年の創立80周年に向け、今後とも全力で取り組んでまいります。

本学はこれからも未来を創造する大学として、次代を担う人材の育成に努めるとともに、教育・研究・社会連携の活動を通じて、より豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。引き続き、岩手大学へ変わらぬご高配を賜りますよう、よろしく申し上げます。



岩手大学長 山本 欣郎

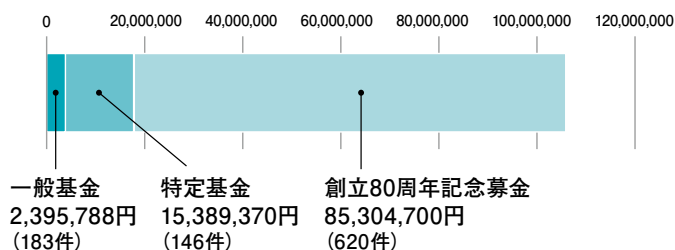
ご寄附の実績

2025年度 ご寄附の実績

2025年度の岩手大学イーハトーヴ基金（創立80周年記念募金を含む）へのご寄附総額は、1億円を超える実績となりました。これもひとえに、本基金に対する皆様の深いご理解と温かいご支援の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。

金額 **103,089,858円**

件数 **949件**



ご寄附の累計 (2015年12月創設～2025年度)

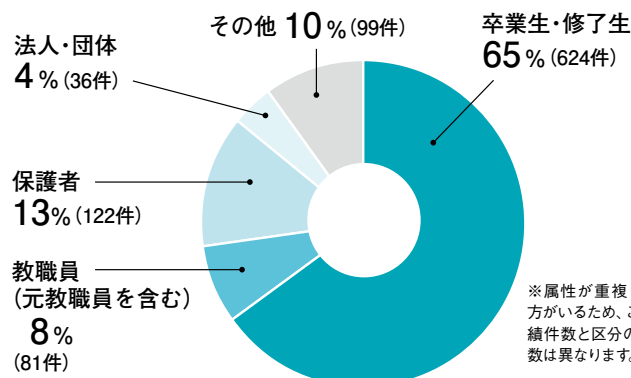
総額

416,367,989 円

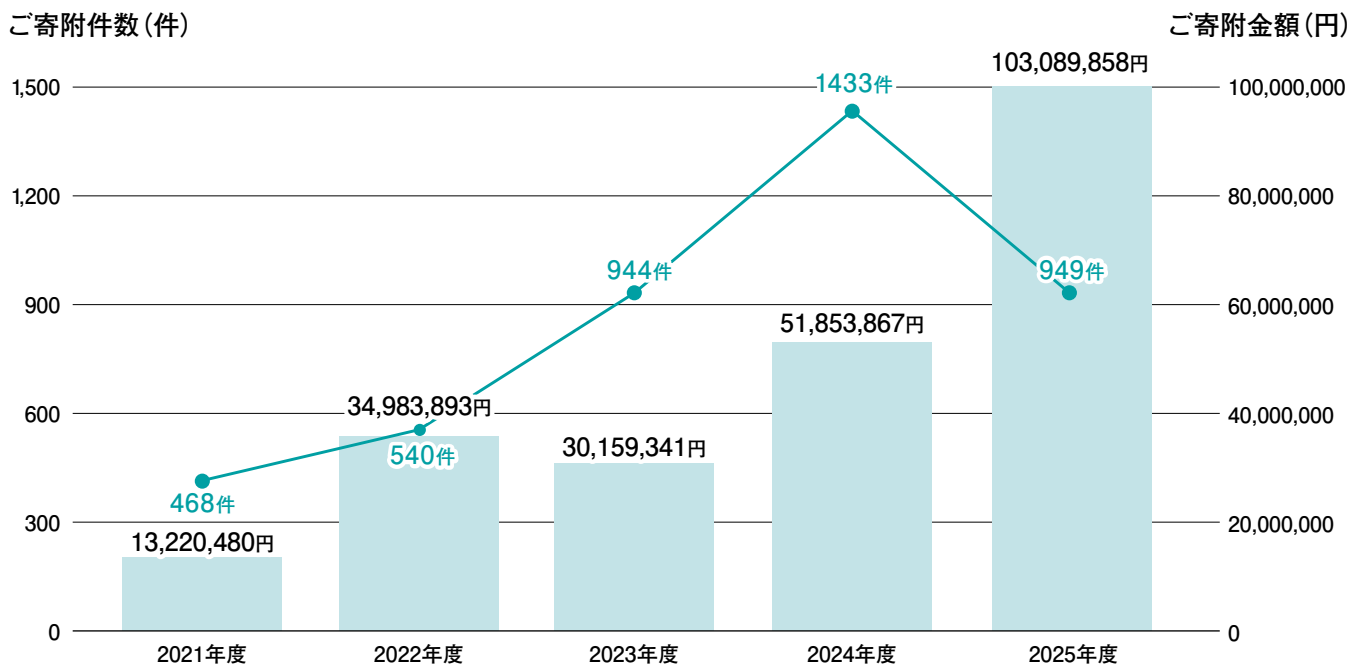
総件数

6,804 件

2025年度 ご寄附者の区分 (件数)



過去5年間の実績



紺綬褒章伝達式を執り行いました

本学の発展に多大なご寄附を賜った佐藤康毅様に紺綬褒章が授与され、2026年2月5日に本学にて伝達式および懇談会を開催しました。伝達式では、小川智前学長より褒章の伝達と謝意の表明が行われ、佐藤様からは寄附に込めた想いや創立80周年記念事業への期待についてご挨拶をいただきました。ご寄附は同記念事業の推進に活用いたします。

懇談会では、本学へのご意見や学生時代の思い出などが和やかな雰囲気の中で語られました。

※紺綬褒章:公益のために私財を寄附した個人または団体に授与される褒章です。本学は当該褒章に係る公益団体として認定されており、一定額以上の寄附について所定の手続により推薦を行っています。詳細は岩手大学基金室までお問い合わせください。



伝達式の様子。
左から小川前学長、佐藤氏、林前基金室長

基金室長挨拶

これから先の未来のために

2026年4月から、特命理事(財務・労務担当)・副学長・事務局長・基金室長として着任しました池田幸太郎です。日頃より、本学へ温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

4月に岩手大学に赴任し、先ず大学が所在する岩手県の雄大な自然の景観に圧倒されました。地元の方々は、日常的に目にしてきた、ごく当たり前の景観かもしれませんが、九州出身の私は、岩手山をはじめとした自然の雄大さに深く感銘を受けました。

岩手大学では、この唯一無二の素晴らしい環境を未来に繋ぎながらも発展させ、様々な分野(農業、水産業、教育及び行政等)で指導者となって、県の未来を担っていく人材を教育・研究活動を通じ、育成しています。

本学は2029年に創立80周年を迎えますが、その先の未来においても変わらず社会に貢献する優秀な人材を育成・輩出できるよう、引き続き皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



岩手大学特命理事
(財務・労務担当)・
基金室長
池田 幸太郎

活動報告

奨学金支援「ありがとう」の言葉

岩手大学イーハトーヴ基金では、経済的な理由で学習の機会を失う学生を減らすため、給付型奨学金による支援を行っています。2025年度は50名の学生を支援することができました。支援を受けた学生から寄せられた感謝の言葉をご紹介します。



理工学部生

奨学金のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。おかげさまで、興味のある分野についての勉強や研究活動を通して、充実した学生生活を送ることができております。これからも一層努力を重ね、将来は社会に貢献できる人間となるべく精進してまいります。



教育学部生

この奨学金のおかげでこの大学で集中して勉学に励むことができ、大学院合格という結果も得ることができました。本当にありがとうございました。

岩手大学イーハトーヴ基金へのご寄附、誠にありがとうございます。いただいた奨学金は、学習に必要な教科書や研究に必要な物品の購入のために使わせていただきました。心より感謝申し上げます。



農学部生

奨学金は学会発表にかかる旅費や生活費等に充てさせて頂きました。特に学会発表ではさまざまな知識を得られただけでなく、多くの研究者や学生との繋がりを持つことができ、今後の進路における重要な機会となりました。ご支援に心より感謝申し上げます。



大学院生



岩手大学イーハトーヴ基金によって、今まで手をつけたくても資金の関係で手

国際交流・留学生支援「ありがとう」の言葉

岩手大学イーハトーヴ基金による、「国際交流・留学生支援事業」では、皆さまからいただいた一般基金を活用しています。支援を受け、貴重な海外経験を詰んだ学生から寄附者の皆さまへ感謝のメッセージです。



総合科学研究科
熊谷 真菜香 さん
短期海外研修支援により
中国へ派遣

本基金のご支援により、経済的な不安を抱くことなく国際プログラムに参加することができました。現地では、講義や企業見学を通じて食品加工や品質管理に関する理解を深めるとともに、自身の研究対象であるナマコの研究についても、新たな視点を獲得することができました。

今後は今回得た知識や経験を生かし、水産物の付加価値向上や消費拡大に貢献していきたいです。貴重な機会をご支援いただき、心より感謝申し上げます。



教育学部
安藤 湊祐 さん
短期海外研修支援により
タイへ派遣

初めての海外留学、そして教育実習ということもあり、多くの不安がありました。ご支援を受けたことで経済的な負担が軽減され、実習に向けた授業づくりの時間を十分に確保することができました。その結果、実習に集中することができたことは本当によかったと感じています。

今後もこれまで通り教師としての夢を追い続けますが、実習前と比べて、教師になることへの思いが一層強まりました。ありがとうございました。

課外活動支援

岩手大学イーハトーヴ基金では、学生の課外活動を支援しています。支援を受けた学生団体からの感謝のメッセージです。

吹奏楽部

このたびは岩手大学吹奏楽部へご寄附を賜わり、誠にありがとうございました。頂戴いたしました寄附金は、今年度開催されました第68回東北吹奏楽コンクールへの活動費として活用させていただきました。同大会では、春から重ねてきた演奏の成果として銀賞を受賞することができました。また、大会へ向けた練習を通して一人ひとりが音楽に真摯に向き合い、演奏家として、また部として成長することができました。今後もより良い演奏を目指し、活動してまいります。



軟式野球部

このたびは、あたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございました。軟式野球部の全国大会出場にあたり、移動費および宿泊費のご補助をいただき、部員一人ひとりの経済的負担を軽減することができました。安心して大会に臨める環境を整えていただき、心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援を力に、全国大会では勝利を収めることができました。この成果は、応援してくださる方々の支えがあってこそのものであります。今後も感謝の気持ちを忘れず、競技力の向上に努めてまいります。改めまして、このたびのご厚意に深く御礼申し上げます。



岩手大学居場所づくりサークル わんこ

このたびは、私たちのサークルに対しご支援をいただき、心より御礼申し上げます。私たちは、地域の子どもたちに安心して過ごせる居場所を提供する子ども食堂の運営を中心に、社会問題について学ぶ学習会の開催など、地域社会に貢献する活動に取り組んできました。今回のご支援により、通信環境の整備や会場の確保、活動に伴う交通費負担が軽減され、これまで以上に安定した運営ができるようになりました。その結果、活動の幅を広げ、より多くの子どもたちや地域の方々と継続的に関わることができています。今回のご支援を励みとし、今後も学生として社会課題に向き合いながら、地域に根ざした活動を誠実に続けていきます。



岩手大学フィリピンSCIP研修

私たちは、不來方祭でのフェアトレード商品販売を通じて、以前、研修で学んだ貧困・環境等の社会課題の周知と、現地の人々への支援活動を行いました。いただいたご寄附は、商品販売時の活動資金として活用させていただきました。当日は、廃棄物から再生された商品に興味を示してくださったり、生産者や私たちの活動に寄り添う温かいお声をかけてくださったりする多くの方々に出会うことができました。小さな意識や行動の積み重ねが世界を変える力になることを実感する素敵な瞬間を皆で噛みしめました。温かいご支援に感謝致します。ありがとうございました。



「盛岡さんさ踊り」支援

いつも「盛岡さんさ踊り」への参加に際し、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。「盛岡さんさ踊り」では、最優秀賞および統一さんさ賞の二つの賞を受賞することができました。

大型バスの手配や浴衣の着付けなどのご支援により、安心して本番に臨むことができました。また、笛などの消耗品を整備いただいたことで、より良い環境のもと、観覧される方々に楽しんでいただけるよう努めることができました。

これらの成果は、岩手大学イーハトーヴ基金によるご支援の賜物です。今後も感謝の気持ちを胸に、伝統芸能に携わる誇りをもって活動してまいります。



TOPICS

「岩手大学ヘラルボニーカード」の発行を開始しました

岩手大学、株式会社ヘラルボニー、株式会社丸井グループの協創により「岩手大学ヘラルボニーカード」が誕生しました。本カードは、利用金額に応じたポイントの一部(0.1%)が岩手大学へのご寄附となるほか、ヘラルボニーへ還元される仕組みとなっています。日常の利用を通じて、岩手の学術と芸術を応援できるカードです。詳細やお申込方法は、特設サイトよりご確認ください。

「岩手大学ヘラルボニーカード」
特設サイト▶



寄附者インタビュー

三澤 和弘さん

1986年3月岩手大学農学部卒業
自営業

2026年4月27日(月)
三澤和弘さんご自宅にて収録(秋田県)



大学とのつながりが導いた寄附

私は岩手大学の卒業生であり、さらに息子2人も岩手大学に進学し、無事に卒業しました。自分自身だけでなく保護者としても大学にお世話になったことから、今回寄附を決めました。卒業生のなかには大学とのつながりを感じ続ける人もいれば、割り切ってしまう人もいますが、私の場合は家族ぐるみで関わる機会があったことで、その結びつきをより強く実感しています。

寄附先としては、創立80周年プロジェクトのなかから、学生が日常的に利用する中央食堂のリニューアルと、出身である農学部の取り組みを選びました。80周年の活動を通じて大学の現在の姿を知り、少しでも力になればという思いが自然と芽生えました。

学びと人生を支えた経験

農家の家に生まれ、両親が苦勞する姿を見て育ったことが、進路選択に大きな影響を与えました。もともとは工学系への関心が強かったのですが、やがて家業を意識し、岩手大学農学部へ進学しました。大学で培った学問の基礎は、現在も確かな支えとなっています。

卒業後は自動車メーカーに就職し、バイク開発やレースに関わるなど約10年経験を積みました。その後、父の体調不良をきっかけに地元秋田へ戻り、現在は米づくりに従事しています。新品種「サキホコレ」の生産に取り組み、「おいしい」と言ってもらえることが何よりの励みです。

大学時代には心に残る出来事が数多くあります。授業に真剣に向き合う一方で、留学生との交流はとりわけ心に残っています。タイからの留学生とスキーに出かけたことや、ケニアからの留学生と実習を共にし、文化の違いに触れた経験は、今も鮮明に思い出されます。多様な価値観に触れる

ことで視野が広がり、人とのつながりの大切さを実感しました。こうした経験は、その後の人生においても貴重な財産となっています。

社会の変化を見据えた大学への期待

秋田県や岩手県では少子高齢化が進み、地域を支える人材の不足が深刻な課題となっています。農業の現場にいる立場からも、その切実さを強く認識しています。先端技術の活用への期待はあるものの、現場との距離はまだあり、実装には時間がかかるという印象です。

大学には、分野の枠を越えた連携をさらに深め、現場の課題に応える新たな知見を生み出していく役割を期待しています。地域の実情に根差しながら、少し先の未来を見据えた研究と教育を積み重ねていくことが重要ではないでしょうか。

社会や地域のあり方が大きく変化する今、大学の存在意義はますます高まっています。これからも長く社会に必要とされる存在であってほしい——その思いを込めて、今回の寄附に至りました。



岩手大学創立80周年記念事業

岩手大学は、2029(令和11)年に創立80周年を迎えます。その節目に向けて進めている記念募金事業は、8つの記念プロジェクトを軸に着実に展開しています。

2025年度には、ご寄附の累計額が1億円に達するご支援をいただきました。さらに、ご寄附をお寄せいただいた皆様が本事業の意義を周囲にお伝えくださるなど、本学の取組を広く発信する「支援の輪」も広がっています。こうした皆様お一人おひとりのご協力が、本学の未来をかたちづくる大きな原動力となっています。

引き続き、卒業生・修生生の皆様、保護者の皆様、教職員、そして地域の皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創立80周年記念事業の特設サイトを
ぜひご覧ください



<https://80th.iwate-u.ac.jp>

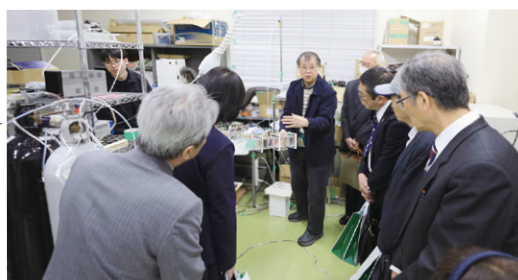
岩手大学創立80周年記念事業 2025年度の主な取り組み

2025年

4月

イーハトーブ基金 「感謝の集い」

2024年度のご寄附者へ感謝をお伝えする集いを開催しました。学生団体による音楽演奏や基金実績の報告、研究室見学を通じて本学の取組を紹介し、理解を深めていただく機会となりました。



7月

同窓会トークカフェ in 仙台

2025年度は毎年開催している同窓会トークカフェを仙台にて開催しました。大学の改革や取組を共有し、卒業生講演や学長との鼎談、学生発表を通じて意見交換を行い、親睦を深めました。

10月

ホームカミングデイ2025

創立80周年記念事業の一環としてホームカミングデイ2025を開催しました。不来方祭と同時開催し、卒業生に懐かしく感じていただける特別企画や交流を通じて、本学の魅力発信と参加者同士の交流を深めました。式典では、ご寄附者の皆様への称号授与および賞状贈呈も行いました。



2026年

2月

紺綬褒章 伝達式

本学の発展のため多額のご寄附をお寄せいただいた佐藤康毅様へ紺綬褒章が授与され、本学にて伝達式および懇談会を開催しました。ご寄附への謝意をお伝えするとともに、80周年事業への期待や本学への思いを伺いました。



2月

「岩手大学応援隊」 募集開始

「岩手大学応援隊」の募集を開始しました。創立80周年に向け、本学の魅力発信にご協力いただく卒業生を募集し、広報やイベント参加、応援隊オリジナル名刺を活用したPR活動などにご協力いただきます。詳細は、創立80周年特設サイトや大学HPをご覧ください。



ご寄附のご案内

岩手大学創立80周年記念事業へのご寄附について

岩手大学創立80周年記念募金事業へのご寄附につきましては、創立80周年特設サイトをご覧ください。岩手大学基金室までご連絡ください。払込取扱票付きのパンフレットもご用意しておりますので、ご希望の方は基金室までご連絡いただければ、必要部数を郵送いたします。皆様のご賛同、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

岩手大学
創立80周年記念サイト
https://
80th.iwate-u.ac.jp



岩手大学イーハトーヴ基金へのご寄附について

岩手大学では、教育研究および学生支援の充実を目的に「岩手大学イーハトーヴ基金」を設立しております。本基金は一般基金と特定基金で構成され、これまで多くの皆様からご支援をいただいております。引き続き、本基金の趣旨をご理解のうえ、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄附の申込方法

本学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けております。また、様々な方法でご寄附をお受けしておりますので、下記詳細をご覧ください。

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済

寄附支払いサイト<F-REGI>からご寄附を受け付けています。

①イーハトーヴ基金HPの
トップページの「寄附をする」
ボタンへ進む



イーハトーヴ基金HP
トップページ

②「クレジットカード決済、コンビニ
決済、Pay-Easy決済を利用して寄
附する場合」欄の「F-REGIサイトか
ら寄附をする」ボタンへ進む

③F-REGIサイトが開
いたらページの最下部
にメールアドレスを登
録する

④登録したメールアドレス
に届いたインターネット納
付用URLにアクセスし、
必要情報を入力する

※お申し込みから領収書の送付まで1~2か月程度の期間をいただきます。領収書の日付は、寄附申込完了日ではなく、本学に入金があった日付となりますのでご注意ください。

● ご利用いただけるクレジットカード



● ご利用いただけるコンビニエンスストア

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、セイコーマート

銀行振込

銀行振込(手数料有料)をご
利用いただく場合は、右記の
フォームへ進み、必要事項入
力の上、送信してください。
メールにて振込先銀行口座
情報をお知らせいたします。



銀行振込
申込フォーム

郵便振替

イーハトーヴ基金パンフレットにある払
込取扱票に必要事項をご記入の上、最寄り
のゆうちょ銀行・郵便局窓口にて払い込み
手続きをお願いします。払込取扱票付パン
フレットがお手元に無い場合は、岩手大
学基金室までお問い合わせください。

継続寄附

クレジットカード決済により定額の継続寄附が可能で
す。ご支援金額は、1,000円から任意の設定をしてい
ただけます。寄附支払いサイト<F-REGI>(※上記ク
レジットカード決済の詳細をご覧ください)の寄附方
法の選択から毎月、毎年等、頻度を設定してください。
※ご寄附いただいた金額は累計されます。

岩手大学リサイクル募金開始

岩手大学では、「リサイクル募金きしゃぼん」による不要品
寄附の受付を開始しました。読み終えた本、使わなくなった
DVD、CD、ゲームソフト、切手・はがき・貴金属・ブランド品な
どの売却代金全額を岩手大学の教育・研究及び学生支援に
役立てることができます。詳細は右記のサイトをご覧ください。



岩手大学
リサイクル募金
HP

盛岡市「教育機関応援型ふるさと納税」の受付開始

盛岡市と連携し、ふるさと納税を通じて本学を支
援いただける仕組みが始まりました。専用サイトから
支援したいプロジェクトをご指定いただき、大学の教
育・研究活動等のご支援をしていただけます。詳細や
お申込方法は、専用サイトよりご確認ください。



教育機関応援型
ふるさと納税
専用サイト



発行/国立大学法人岩手大学 基金室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
Tel:019-621-6091 Fax:019-621-6014
Email:kikin@iwate-u.ac.jp



イーハトーヴ基金
HP



イーハトーヴ基金
X